



大げやき

こころざし高く
思いやりのある
深小っ子の育成



2学期のスタート

校長 新井英男

37日間の夏季休業を終え、今日からいよいよ2学期のスタートです。新型コロナウイルス感染症の猛威が続いている状況ですが、子供たちの健康面に配慮しながら、色々な行事を予定している2学期が始まりました。

夏季休業中、心配していた交通事故の連絡が一件もなく、子供たちは安全な生活が送れたようです。大きな病気になって入院したという連絡もありませんでした。今日、元気な子供たちに会えて、大変うれしくなりました。

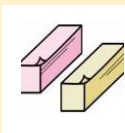
夏季休業中に行われた東京オリンピックでは、選手たちの真剣さ、頑張りが私たちに様々な感動を与えてくれました。小さい時からの夢を実現した選手、小学校の時の卒業文集に書いたことを実現した選手がいた一方で、金メダル候補と言われていた選手が予選で敗退という厳しい現実もありました。東京オリンピックは、子供たちに多くのことを教えてくれたと思います。学年に応じて、クラスで担任と友達と、東京オリンピックを見て考えたことを色々話し合ってもらいたいと思っています。

2学期は、スポーツフェスティバル、校外学習等、子供たちが楽しみにしている行事があります。保護者の皆様、地域の皆様、2学期もどうぞよろしくお願いたします。

失敗を受け入れるおおらかさを！～ポスト・イット発明者に感謝して～

ポスト・イットをご存じですか？ のりが付いていて貼り直しの利く付箋のことです。このポスト・イットの発明者、アメリカの科学者のスペンサー・シルバーさんが今年の5月に亡くなったそうです。

ポスト・イットは、手帳やノート、教科書や本、辞典、掲示物など、色々な場面で重宝されています。この付箋は、昔からありそうですが、発明され実用化に至ったのは今から50年ほど前で、日本で初めて発売されたのは昭和56年ということですから、意外とその歴史は浅いのです。最初、航空機の製造に使えるほど強力な接着剤の開発を目指していたのですが、逆に接着力がとても弱い接着剤をつくり出してしまったそうです。シルバーさんは用途を思いつかなかったのですが、別の研究者が本のしおりへの応用を思いつき、製品となり、世界中に広がる大ヒットとなったということです。



この話のように失敗や偶然から大発明が生まれることは多いようです。しかし、最近、過度に失敗を恐れる世の中の風潮はないでしょうか。周囲の目を気にし過ぎていないか、他人の評価に敏感というか、そう感じる時があります。失敗やトラブルを受け入れるおおらかさがなくなっているように感じます。それが原因で児童が不登校に陥る事例も少なくないといえます。学校は、社会の縮図であると言われる。子供たちは、失敗や成功、挫折や成長の経験を繰り返すことで心のキャパシティが広がり、現実社会での対応力や適応力を身に付けていきます。昨今、子供が失敗しないように保護者がしてしまうことの問題点も言われています。

失敗は成功の一里塚。貼ってだめなら、また貼ればいいのです。小さいけれど大きな発明を残したシルバーさんのご冥福をお祈りしつつ、子供たちにはどんどん挑戦しながら失敗し、周りの大人もその失敗を受け入れるおおらかさを持っていきたいと思っています。

長い休みの後で心配なこと

夏季休業中は、自分のペースで色々なことが進んでいたと思います。学校に来ると、みんなで生活していくので制約が出てきます。また、自分でやりたくないこともしなければならなくなります。1学期は、それをみんな普通にやってきたのですが、長い休みの後になると、それらが大変で「学校に行きたくない」という気持ちになることがあります。

初めの3日間がとても大切になってきます。本日、久しぶりに学校にやってきましたが、来週の30日、31日がスムーズに学校に来られるように注意深く見守っていただきたいと思います。お子さんのことで少しでも気になることがありましたら、遠慮することなく担任にお話してください。



8・9月の主な行事



日	曜日	主な学校行事	日	曜日	主な学校行事
27	金	登校指導、2学期始業式(リモート)、11:40下校	14	火	学級の時間、委員会、
28	土	PTA環境整備作業 <中止>	15	水	チャレンジタイム
29	日		16	木	特日、アルミ缶回収、基礎タイム
30	月	給食開始、短縮4時間、13時40分下校	17	金	すくすくタイム(学級の時間)
31	火	一斉下校、短縮4時間、13時40分下校	18	土	スポーツフェスティバル→延期 特別日課4時間、12時30分下校
1	水	短縮4時間、13時40分下校	19	日	
2	木	アルミ缶回収、短縮4時間、13時40分下校	20	月	敬老の日
3	金	短縮4時間、13時40分下校	21	火	5・6年 6時間授業
4	土		22	水	チャレンジタイム
5	日		23	木	秋分の日
6	月	短縮4時間、13時40分下校	24	金	振替休業日(18日の振替)
7	火	短縮4時間、13時40分下校	25	土	
8	水	短縮4時間、13時40分下校	26	日	
9	木	アルミ缶回収、短縮4時間、13時40分下校	27	月	特日、読書
10	金	短縮4時間、13時40分下校	28	火	親善選手を励ます会、委員会
11	土	緊急連絡サイト登録開始(~17日)	29	水	教育支援・学力向上担当学校訪問、14:30下校
12	日		30	木	特日、基礎タイム、アルミ缶回収
13	月	特日、読書			★毎日、家族全員の健康観察を!

新型コロナウイルス感染症関係のために予定が変更になる場合があります。毎日、ホームページをご覧ください。

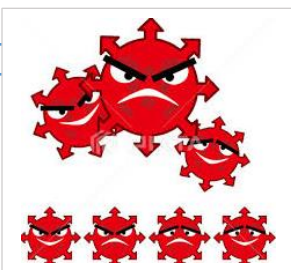
緊急事態宣言に伴う対応にかかる基本方針

～深谷市教育委員会から～ [期間] 令和3年8月2日～令和3年9月12日

学校における対応

<感染予防のさらなる徹底>

- 健康観察の徹底（体調不良の際は登校（園）を控える）
 - 手洗いの徹底と適切な換気・保湿、マスクの着用
 - 給食中の会話の禁止（会話は食事後にマスクを付けて）
- * 余裕教室を活用した身体的距離の確保



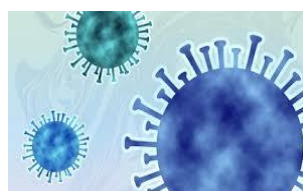
<学びの保障について>

- オンライン学習に向けた対応
 - iPadの家庭への持ち帰りの実施
 - リモート授業の準備・実施
- 教育課程実施上の配慮
 - 感染症対策を万全に講じながら、リスクの低い活動から段階的に実施



<学校行事>

- 多人数の集会活動は必要最小限のものにすること（学年を超えて一堂に集まることのないように）
- 修学旅行等は、目的地の状況、生徒の心情等を踏まえ、保護者の十分な理解を得て、中止または延期を含め実施の可否を判断する。



<教職員の出勤について>

- ※発熱等の風邪症状がみられる教職員の出勤自粛の徹底
- 教職員自身の日々の健康管理を徹底する
 - 発熱等の風邪症状がみられる場合は、出勤を自粛



家庭における対応

- 規則正しい生活習慣の徹底
- 家庭内に体調不良者がいる場合は登校を見合わせる（健康観察・健康観察カードの提出）
- 基本的な感染防止対策を徹底すること
- 不要不急の外出を避け、可能な限り速やかに帰宅すること。外出する場合でも、人数や時間を最小限にすること
- 子供のみの会食等の自粛

毎日更新している**本校のホームページ**から



(深谷小HP)

8月7日 体験多いほど「探究力」が高くなる！

自然体験や文化芸術体験、家事の手伝いの体験の多い子供は、探究の力が身に付いているという調査結果を独立行政法人の青少年教育振興機構がまとめました。

これは、小・中学生、高校生を対象に昨年1月から4月にかけて行った調査の結果を集計・分析したものです。「自分でできることは自分でする」などの意識調査と、家事の手伝いの頻度などの実態調査の結果をクロス集計して、このような分析結果を導き出したそうです。

3万人弱の児童・生徒が対象で、回収率は約7割。小学校4年生以上の回答から、探究力について調べたそうです。「自分でできることは自分でする」などは、「学びに向かう力・人間性」を見る設問ととらえたほか、「新聞やテレビ、インターネットで、その日のニュースを読んだり見たりする」などは「知識及び技能」を見る設問とし、「自分の思ったことをはっきりと言う」などは、「思考力・判断力・表現力等」をみる設問としているそうです。

その結果、「海や川で泳いだこと」などの**自然体験**、「文化芸術にかかわる作品をつくったり演じたりすること」などの**文化芸術体験**、「食器を揃えたり、片付けたりすること」といった**手伝い体験**のいずれかについても、**高得点層になるほど、探究力が高い児童・生徒の割合が高かった**そうです。

8月18日 緊急連絡サイトアクセス

～ご協力ありがとうございました～

昨日で8月の緊急連絡サイトアクセス期間が終わりました。今回も、ご多用のところ、ご協力ありがとうございました。

今回の登録者は、**349人**でした。登録率は、学校全体で**76.1%**になりました。

学年ごとの登録率は、次のようになります。1年生は、85%を超えました。

1年 85.5%、**2年 70.7%**、**3年 76.8%**、
4年 76.3%、**5年 73.8%**、**6年 69.0%**

8月のアンケート「持ち帰ったタブレット」について、次のような結果でした。

1 課題がある 48.0% **2 課題がない 36.9%**
3 わからない 15.1%

<課題等>

- ◆時間を忘れて没頭してしまう。
- ◆苦手なものに自主的に取り組むことが難しい。
- ◆本人が使い方を覚えていない。
- ◆ヤフーキッズの使いすぎ。
- ◆タブレットの中のゲームばかり行っていた。
- ◆約束した時間をオーバーしてしまう。

